

地域づくり講演会ニュース

平成28年
3月発行

★平成27年度 地域づくり懇談会を開催しました（平成28年3月16日）

鶴乃江酒造杜氏の林ゆりさんを迎え、アナウンサーの宗方和子さんと対談していただき、地域づくり講演会を開催しました。本ニュースでは、講演会の様子をご紹介します。

対談テーマ：「酒づくりと地域づくり」

【これまでの経緯】

- ◆酒蔵で自転車の練習をするなど、生まれたときから酒蔵の雰囲気にも親しんできた。
- ◆母は、住み込みの蔵人のまかないなどをしてきたが、住み込みの体制をやめ、自分たちでできることをしていこうという方針になった。
- ◆大学の醸造学科に進み「自分でも酒をつくってみたい」という気持ちが強まり、実家である鶴乃江酒造へ就職を決めた。

【酒づくりを通じた取組】

- ◆通っていた福島県清酒アカデミーでは、他の酒蔵と交流できたことが非常に良かった。福島県内の酒蔵は横のつながりが強い。
- ◆震災時には、「何かできることを」と思い、避難所へ酒粕でつくった甘酒を配った。声をかけていただいたり、避難されている方たちの笑顔を見ていると、我々も元気をいただけて、やって良かったと思えた。
- ◆震災後、関東の試飲即売会でお世話になっていたお店やお客さんも気にかけてくださり、励ましや応援の言葉をいただいた。これからも、顔の見える商売を続けていきたいと感じている。

【酒づくりについて】

- ◆酒づくりをするときには、「おいしくなあれ」と願いながら、毎日異なる条件のもと、一年生のつもりで取り組んでいる。
- ◆女性ならではの取組と感ずるのは、母と自分で酒蔵の掃除を徹底したこと。

【地域づくりについて】

- ◆七日町の観光客の方が増えてきて、それに伴って会津の名産品である漆器や会津能面、お菓子屋さんも増えてきている。ますますお客様に喜んでもらえるまちづくりを進めたい。

【これからの展望について】

- ◆家族やその他の方々の協力があつての酒づくり。これからは、蔵を守る立場として、蔵人が働きやすい環境づくりにも取り組みたい。
- ◆200年の歴史をもつ蔵をこれからも守り、地域のおいしいお米やお水を活かした酒づくりを七日町で続けていきたい。



林 ゆり氏 鶴乃江酒造杜氏 プロフィール

- ◆会津若松市出身。東京農業大学 醸造学科卒 1級酒造技能士
- ◆実家の鶴乃江酒造（会津若松市）へ就職
- ◆福島県清酒アカデミー職業能力開発校卒業、酒造士認定証取得
- ◆やさしい口当たりで人気の銘柄、純米大吟醸酒「ゆり」を発売
- ◆酒の仕込み、首都圏への試飲即売会など、多忙な毎日を送っておられます

【このニュースに関するお問い合わせはこちらへお願いします】

福島県南建設事務所 企画管理部 企画調査課（TEL：0248-23-1617）